

# 葛飾区立堀切中学校

(様式4-2：令和5年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる教員支援制度

実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称： 総合的な学習の時間 探究テーマ「地域の伝統文化」					
2. テーマ： 地域と協働し公共交通機関を活用した地域・学校行事の活性化を目指して					
3. 実施教科： 総合的な学習の時間					
4. 関連単元： 音楽 第2学年 (2) B鑑賞 ア(イ)・イ(イ)					
5. 実施単元数： 4単元 ※9.(1)～(4)にあたる					
6. 学年	2学年	7. クラス数	3クラス	8. 生徒数	89名
9. 実施内容 (1) 地域行事を学ぶ 総合的な学習の時間の探究テーマを「地域の伝統文化」とした。6月に行われている「堀切かつしか菖蒲まつり」については写生コンクールへ参加し、地域の方が取り組まれているイベントを通して地域活性化への取組について考察した。さらに、同じく伝統行事として地域や本校同窓会が主体となって開催が続いている「堀切大凧揚げ大会」への参加に向けて学習を行った。夏季休業中にはボランティアを募って大凧づくりを行うとともに、令和5年10月13日(金)に小凧作り学習、12月1日(木)に大凧揚げ練習会を行った。  (2) 公共交通機関の役割を学ぶ 令和5年11月17日(金)に本校卒業生で工業デザイナーとしてアメリカで活躍されている宇田川信学氏を招き、職業講話を行った。また、20日(月)には教員向けの研修として講演会を行った。宇田川氏は犯罪が絶えなかったニューヨーク地下鉄の車両リニューアルに携わっている。デザインの力で犯罪を激減させた実績をもとに、公共交通機関が地域にもたらす影響について学んだ。  (3) 公共交通機関へ考察した内容を提案し協働を図る 令和5年11月24日(金)に生徒会本部役員が京成電鉄千住大橋駅を訪問し駅長(堀切菖蒲園駅駅長を兼務)と面会を行った。地域が中心となって行われ、学校行事として生徒が参加している「堀切大凧揚げ大会」について説明を行うとともに、駅での周知など鉄道利用者や沿線住民への認知度向上にむけて働きかけた。					

#### (4) 公共交通機関を活用した行事の活性化策を考察・構想する

令和6年3月11日、一般社団法人藝檀の小塚希帆氏を講師として招き、邦楽教室を開いた。堀切かつしか菖蒲まつりで地域の方が琴の演奏を行っていることと関連付けた。江戸時代にルーツがある堀切地区での菖蒲栽培の伝統が今の菖蒲まつりにつながっていることから、まつりを盛り上げる方策として、伝統文化を地域の一員として学び発信することは地域の魅力向上につながるのではないかという考察が見られた。

### 10. 学習のながれ：

#### (1) 地域行事を学ぶ

##### ①「堀切かつしか菖蒲まつり」写生コンクール参加、イベント内容の調査

6月に学区域で行われる「堀切かつしか菖蒲まつり」への参加を通して地域活性化策の視点から地域行事を捉えた。イベント内容の調査では吹奏楽部の出演のほか、江戸時代から続く菖蒲栽培の伝統をイメージし琴の演奏が行われていることを確認した。地域行事とその伝統を知ることにより、自らが住む地域の資源について理解することができた。

##### ②夏季休業中 大凧づくりボランティア生徒による製作

伝統行事として地域や本校同窓会が主体となって開催が続いている「堀切大凧揚げ大会」への参加に向けて主体的に地域行事に関わろうとする生徒を募り大凧製作を行った。

##### ③小凧作り学習と大凧揚げ学習会

10月13日(金)、地域の方を講師として招き小凧作りを全員で取り組んだ。大会で自ら揚げる凧を製作した。また、11月24日(金)にはボランティア生徒が製作に携わった大凧揚げ練習会を行った。学習会では過去の大会の様子や大会の意義、地域とのかかわりについて地域の方より講話を受けた。

##### ④堀切大凧揚げ大会への参加

令和6年1月13日(土)に地域住民を中心に運営される堀切大凧揚げ大会に参加した。参加を通して、地域の方との関わりを再認識し、将来、自分たちがどのように地域に関わることができるか、地域参画の視点から考察した。

#### (2) 公共交通機関の役割を学ぶ

令和5年11月17日(金)に本校卒業生で工業デザイナーとしてアメリカで活躍されている宇田川信学氏を招き、職業講話を行った。宇田川氏の仕事への向き合い方やデザインをする上で大切にしていることなどについての話は生徒の職業観を育むうえで多くの学びがあった。宇田川氏は犯罪が絶えなかったニューヨーク地下鉄の車両リニューアルに携わっている。デザインの力で犯罪を激減させた実績をもとに、公共交通機関が地域にもたらす影響について学んだ。

公共交通機関が安全で使いやすいデザインであれば、利用者が増え、都市を活性化させるとの話は、地域における交通機関がもたらす役割について考察するうえで示唆に富む内容だった。

学習後のまとめについては、講話での学びをもとに地域活性化について考察を行い、「利用者は意識せず使っているが、さまざまな狙いがあるデザインされて



いることを知って驚いた」、「地下鉄という公共交通機関が改善されることで都市自体がよくなっていく影響力を知ることができた」といった公共交通機関の生活への影響について考えることができた。

11月20日（月）には教員向けの研修として宇田川氏による講演会を行い、教職員の見地を深めた。地下鉄をデザインする上では車両の細かな機能のことを考えるだけでなく、利用者の特徴を踏まえて素材を選んだり、券売機などシステムも含めて使いやすくするなど都市の一部であることを意識しているとのことであった。地域の中に公共交通機関があり、影響をもたらす視点は、生徒の考察を促すうえで有益であった。

### （3）公共交通機関へ考察した内容を提案し協働を図る

公共交通機関の地域にもたらす影響について考察した学習をもとに、地元の鉄道会社に学校での取組について伝え、堀切大凧揚げ大会の周知について提案した。令和5年11月24日（金）に生徒会本部役員が京成電鉄千住大橋駅を訪問し駅長（堀切菖蒲園駅駅長を兼務）と面会を行った。駅でのポスター掲示などの告知について協力をお願いし、堀切大凧揚げ大会が地元だけでなく、鉄道利用者や沿線住民への認知度向上によって多くの人の参加を促したいことを伝え協力を得られた。

### （4）公共交通機関を活用した行事の活性化策を考察・構想する

#### ①「堀切かつしか菖蒲まつり」の活性化策について

堀切かつしか菖蒲まつりでは、歴史的な観光資源である堀切菖蒲園の整備はもとより、小中学生への理解を深めさせる写生コンクールが行われたり、歴史的情緒を感じさせるために地元住民による琴の演奏が行われたりしていることについて地域活性化という視点から理解を深めた。その中で、琴だけでなく音楽で学習した邦楽を盛んにすることは、さらなる活性につながるのではないかと、伝統を自分たちで守っていくことが大切だ、といった考察が見られた。それを踏まえ、三味線や長唄についての理解を深めるために講師を招き邦楽について学習をした。

#### ②「堀切大凧揚げ大会」の活性化策について

1月に「堀切大凧揚げ大会」に参加した後の振り返りでは、これまでの学習で製作した凧を自らの手で挙げた達成感が見られたほか、地域住民がどのように会の運営に携わっているかという視点での分析も見られた。

次年度に向けてより主体的に本行事に関わろうとする態度が育まれただけでなく、伝統行事が続いていくためにも地域住民の一人として卒業後も運営のボランティアに携わりたいという思いが見られた。さらに、地域にとどまらず広く知ってもらいたい、認知度向上のためにできることは何かといった地域活性化策についての考察や構想を行った。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。



【資料】指導に関連する図版

(1) 地域行事を学ぶ

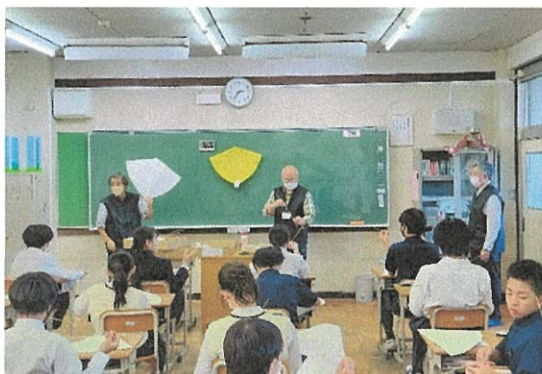
① 「堀切かつしか菖蒲まつり」写生コンクール参加、イベント内容の調査



②夏季休業中 大凧づくりボランティア生徒による製作



③-1 小凧作り学習と大凧揚げ学習会





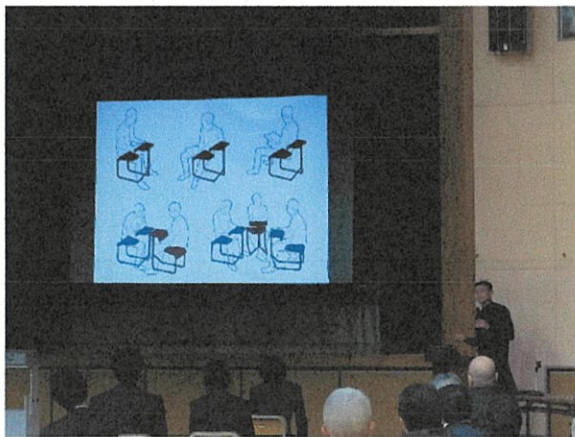
③-2 大凧揚げ学習会



④堀切大凧揚げ大会への参加



(2) 公共交通機関の役割を学ぶ





(3) 公共交通機関へ考察した内容を提案し協働を図る



(4) 公共交通機関を活用した行事の活性化策を考察・構想する

① 「堀切かつしか菖蒲まつり」の活性化策について

